

## 【行動の想定を】

いざというときに慌てないよう、普段から自分がとるべき行動を想定しておくことが大切です。

### 地震が発生したら



机の下などで、揺れが収まるのを待つ。



火の始末は揺れが収まってから。



慌てて外に飛び出さない。



玄関や窓などを開けて、避難経路を確保。

※原則、震度6弱以上の地震が発生したら避難所が開設されます。

### 風水害の恐れがあるときは



テレビやラジオで最新の気象情報に注意を。



避難時の荷物は必要最小限とし、事前に準備を。



家族が離れ離れのときは、お互いの所在や避難後の連絡方法を確認。



安全に避難できるよう、浸水が始まらないうちに行動を。

※雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難を！

## 避難!!

### 避難時の注意点

- ☑行政機関などから避難の呼び掛けがあったら、速やかに指示に従い避難する。
- ☑近所の人たちと声を掛け合い、協力して避難する。
- ☑避難する前にガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る。
- ☑道路渋滞を招くので、原則として自動車は使わず、徒歩で避難する。



## 【避難所では】

避難所は、市や施設管理者などと協力しながら、避難者が主体となって運営していくことが大切です。非常事態の中で、誰もが少しでも快適に生活できるよう避難者一人一人が「思いやり」や「譲り合い」の精神を持つことが必要です。

### ルールを守り

**運営に協力を**  
互いのプライバシーを尊重し、清掃、給食・給水、物資の配給などを積極的に行きましょう。

### 災害時要援護者への

**手助けを**  
生活の支援が必要な人の話し相手や配給の手伝いをするなど、思いやりを持って手助けをしましょう。

### 避難所運営を模擬体験

避難者の年齢や性別など個別情報が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図に、どれだけ適切に配置できるか、また、避難所で起こる出来事にどう対処していくか模擬体験できる“避難所運営ゲーム (HUG)”。まさかのときに備え避難所運営のノウハウを学ぼうと、このゲームを実施する地域の団体が増えています。



▲稲穂金山活性化推進委員会



▲稲穂・安全安心まちづくり協議会

### あらかじめ 避難場所の確認を！

地震や風水害の対策、家庭での事前準備などについてまとめたパンフレットを配布中！ハザードマップや防災マップには避難場所も掲載しています。各家庭における災害への備えを確認しておきましょう。

**配布場所** 区役所1階①番窓口 広聴係  
区役所3階 総務企画課



### 災害用伝言ダイヤル 「171」

大規模な災害が発生した場合に提供を開始し、被災住民の安否情報を伝える声の伝言板。「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音や再生を行います。毎月1・15日や防災週間などには体験利用ができます。

#### 録音手順

171をダイヤル

↓

1をダイヤル

↓

被災地の方の固定電話の番号をダイヤル

#### 再生手順

171をダイヤル

↓

2をダイヤル

↓

被災地の方の固定電話の番号をダイヤル